



こどもはみんな たいせつにされなければなりません
 すべてのこどもは あんぜんに まもられなければなりません。
 すべてのこどもは あそび、やすみ、ゆっくりする けんりがあります。
 すべてのこどもは じぶんの いけんをいう けんりがあり、
 おとなは それをきかなければ なりません。

おとなも まちがえたり うまくできないことがあります。
 たいせつなあなたを もっとたいせつにできるように
 おとなは てつだってもらうことが ひつようかもしれません。
 いちばんだいじなのは、こどもが あんしんしてそだつことです。
こんなときは たよれる おとなにはなそう



きずつくようなこと
かななくなるようなことをいう

はなしや いけんを
きかない

あなたの していることが
ダメだという

むりやり なにかを
させる

たたいたり
いたくする

ひとりぼっち
にする

からだを さわったり
おとなのからだをさわ
ったりみるようにいう

たべさせなかったり
おふるにいれなかったり
きせつにあう あらった
ようぶくを よういしない

おうちのひとのかわりに
しごとやかぞくのおせわを
こどもにさせる

おとなに はなそう

すきなおとなや こわいきもちに ならないひとにはなそう。せんせい、おじさん、おばさん
 きんじょのひと など。
 もし そのひとが しんじなかつたり なにもしなかつたら ほかのひとにはなそう。
こどもに つらいおもいをさせる ひとを そのままにしない。
 まずはこどもが あんしんして すこせること。がまんをすると ところやからだ
 が びょうきになつたり することが わかっています。
 なにかができる ひとにあうまで はなしつづけよう。



きづこう、しろ

きづいて こうどうできたら かえていける。
 わからないことは しらべよう。ただしくないとおもうことには おとうさん
 おかあさん せんせいにも 「いやだ」というけんりがある。
 うれしいとおもうことについて ともだちを たすけよう。

じぶんをだいじにしよう

じぶんの ところとからだは じぶんのもの。
 じぶんの ことをいちばんに おせわしよう。
 じぶんの していることに じしんをもって こどものじかんを たのしもう
 あなたは ちきゅうにうまれた こども。ほしと おなじように あなたは
 たいせつにされて あんしんしてくらす ことができる。



By Akiko & Yuko

けんりとは うまれたときから みんながもっているものです。おとなも こどもも ひとりひとりのたいせつさは おなじです。
 けれど、おとなのほうが おおきく つよいので こどものためのやくそくを せかいできめました。
 こどものけんりじょうやくは こどもが みんなだいじにされ、あんしんしてくらするために おおくのくにが あつまって きめた や
 くそくです。にほんの ほうりつよりも ゆうせんされます。
 ほうりつができて このないようをしらないことがあります。こどもはじぶんのけんりを していることがだいじです。